

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】								
2 実施対象者	学校名 : 千葉市立泉谷小学校 対象学年 : 第6学年 クラス(人数): 2組(37人)								
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (<u>体育科</u> ・保健体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()								
4 目標 (ねらい)	モデル校での実践等を通して、体育・保健体育の学習を充実させ、子供たちが、よりスポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質を育むこと、健康の保持増進のための実戦力の育成と体力の向上を図ることを目的とする。								
5 取組内容	<道すじ> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">時間</th> <th style="width: 90%;">ねらい・学習活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td> オリエンテーション ・準備運動 ・座ったままの動き ・ボール慣れ(2人組やチーム) ・試しのゲーム(リーグ戦①) </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td> ねらい「シッティングバレーボールを楽しもう」 ○場の準備、準備運動 ○座ったままの動き(鬼ごっこ・リレー等) ○円陣パス ○ゲーム(リーグ戦②・③) ○振り返り </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td> ねらい「シッティングバレーボールを楽しもう」 ○場の準備・準備運動 ○座ったままの動き(簡単に) ○円陣パス ○ゲーム(リーグ戦④⑤) ○振り返り まとめ </td> </tr> </tbody> </table> <p>*オリエンテーションでは、体育館に大型テレビを設置し、DVD教材「I'm possible」を活用して、視覚的に理解できるようにした。</p>	時間	ねらい・学習活動	1	オリエンテーション ・準備運動 ・座ったままの動き ・ボール慣れ(2人組やチーム) ・試しのゲーム(リーグ戦①)	2	ねらい「シッティングバレーボールを楽しもう」 ○場の準備、準備運動 ○座ったままの動き(鬼ごっこ・リレー等) ○円陣パス ○ゲーム(リーグ戦②・③) ○振り返り	3	ねらい「シッティングバレーボールを楽しもう」 ○場の準備・準備運動 ○座ったままの動き(簡単に) ○円陣パス ○ゲーム(リーグ戦④⑤) ○振り返り まとめ
時間	ねらい・学習活動								
1	オリエンテーション ・準備運動 ・座ったままの動き ・ボール慣れ(2人組やチーム) ・試しのゲーム(リーグ戦①)								
2	ねらい「シッティングバレーボールを楽しもう」 ○場の準備、準備運動 ○座ったままの動き(鬼ごっこ・リレー等) ○円陣パス ○ゲーム(リーグ戦②・③) ○振り返り								
3	ねらい「シッティングバレーボールを楽しもう」 ○場の準備・準備運動 ○座ったままの動き(簡単に) ○円陣パス ○ゲーム(リーグ戦④⑤) ○振り返り まとめ								

	<p><手だて></p> <p>① ボールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールは30gと50gをつながる運動等で使用し、実態に合わせて50gのものを使用した。 <p>② 場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コートはバドミントンシングルコート (横518cm、縦3m) ・ネットの高さ1m <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソフトバレーボール」の学習後に本単元を設定した。 ・「ソフトバレーボール」の学習を生かし、以下のような簡単なルールを設定した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【はじめのルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2または3回で返す。 ○1回キャッチしてもよい。投げて返してはいけない。 ○同じ人が連続でさわれない。 ○サーブは1点交代。 ○サーブを打つたびに、ローテーションする。 </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量が確保でき、体力向上につながった。 ・個の技能差が広がらないことやチーム内での声かけ、フォーメーションの工夫が大切なことから、チーム内での話し合いや励まし合いが見られるようになった。 ・「パラスポーツ=障害のある人のスポーツ」という子どもたちの認識が、学習を通し、「障害のある人とない人が一緒に楽しめるスポーツ」という理解に変容した。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがコートの準備を自分たちで安全に簡単にできるように、ネットをつなぐ棒としてペットボトル4本をまとめて体操棒を立てた物を使用した。 ・ネットはゴム紐を使用した。ネットが超えたことがわかるようにゴム紐にスズランテープを下げた物を使用した。 ・座り方によっては、ボールを取りに行く動きにつながりにくかったため、「I'm possible」の映像資料を活用して、よい座り方や動きをまねる機会を設定した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程や体育の年間指導計画等にどのように位置づけて実践していくとより効果があるか検討していく必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有意義な活動であるので位置づけを検討した上で実施していきたい。